

# Bs1 スペシャル

## 新型コロナウイルス関連番組

▼7月5日(日) 午後10:00~11:50

『シリーズ・コロナ危機 グローバル経済 回復力の攻防戦』

経済再開に向けて動き出す世界各国。グローバルなネットワークゆえの危うさ、ドミノゲームとなる時の恐ろしさも経験した国々は、今試練の時を迎えている。中国型データ監視経済の台頭が注目される一方で、アメリカはワクチン開発で再逆転を狙い、くしくもEUのせい弱性を露呈したヨーロッパ各国は独自の道を摸索する。

そうした中、日本はどこへ向かうのか? 「社会的距離」を視野に入れた、経済戦略はありうるか? 4月の第一弾から2か月余り、世界の経済秩序が大きく変わり、長期戦となる変化の時代の動きを注視。ジョセフ・スティグリッツ、ニール・ファーガソンら、「欲望の資本主義」の世界の知性たちとともに考える。経済、社会、そしてそこにある人々の模索する姿を通して問題の本質を探り、浮かびあがりつつある、新たな経済秩序を明らかにしていく。

日本経済の「複雑性」は、その中でどう生きるのか? 回復への力となるか? グローバル/ローカルを越えた、「ネオ・グローバリズム」構築への模索を描き、今必要な力を考える。

▼7月19日(日) 午後10:00~10:50

『ニューヨークの悲劇 ~感染爆発と闘った120日~』

新型コロナウイルスによって世界最悪の被害を出した都市がアメリカ・ニューヨーク市だ。感染者は20万人を超えた。なぜこれほど大きな被害が出てしまったのか? 人々は感染爆発の中でどう戦ったのか?

今回、番組では地元の住民やジャーナリスト、医療従事者などが撮影した映像を集め、当事者たちの貴重な証言をもとに、未知のウイルスと戦ったニューヨークの120日間をたどる。

そして、感染拡大の背景には「見過ごされた兆候」、「国と知事の軋轢」、「貧富の格差」といった巨大都市ならではのさまざまな要因が絡み合っていること、その中でニューヨーカーたちはギリギリの戦いを続けたことを浮かび上がらせる。



▼7月19日（日） 午後11：00～11：50

『ブラジル 見棄てられた街で ～感染爆発 切り捨てられる命～』

新型コロナウイルスの感染者が急増し、アメリカに次ぐ世界2位の“感染大国”となったブラジルで今、何が起きているのか。今回、ブラジルにある貧困街・ファベラに暮らす住民がスマートフォンで撮影した30時間超の独自映像を入手した。映し出されていたのは、“3密”の劣悪な生活環境の中で暮らす人々が、適切な医療を受けられず政府から見捨てられ、亡くなっていく姿や、感染が疑われる症状で亡くなっても検査もされないまま埋葬されていく“カウントされない死”の実態だった。

これから冬に突入し、さらなる感染爆発の中心地となることが危惧されるブラジル。貧しい人々の間に無慈悲に広がるウイルスの脅威と“命の格差”の実態に迫る。



タイトルは仮です。